

低反応レベルレーザー治療 (LLLT) のリラクゼーション効果

田村有希¹, 橋本知子¹, 五寶秀美¹, 中岡義晴¹, 森本義晴²

¹IVF なんばクリニック ²HORAC グランフロント大阪クリニック

【目的】

IVF JAPAN グループでは、最先端の生殖医学の技術を駆使した上で、その効果を最大限に引き上げるため、心理療法、栄養療法、東洋医学、補助医療、運動療法などを組み合わせた統合医療を実践し、様々な角度から患者のケアを行っている。補助医療の中の一つである低反応レベルレーザー治療 (以下 LLLT) には、内膜肥厚・採卵数増加などの効果があると言われている。更にリラクゼーション効果もあるとされている。本研究は LLLT の前後での患者の心理状態 (気分) の変化を測定し、リラクゼーション効果の有無を検討した。

【方法】

- 1) 対象者 2016年10月から2019年10月の期間に週1回 LLLT を受けた患者 270名。平均年齢 38.93歳±4.05。
- 2) 測定指標 二次元気分尺度 (以下 TDMS)
- 3) 手続き ソフトレーザー-MODEL JQ-W1 (MINATO 医科学社製) を使用し、1) 星状神経節に左右各4分照射、2) 臍上部 2-3センチ部に各2分照射、3) 臍左右 2-3センチ部に各2分照射、4) 子宮上部に2分照射、5) 腰部 (腎兪・志室) に各1分照射を行う。1回目および、以後5回目ごとの LLLT 施術前後で TDMS への回答を依頼した。

【結果】

施術前後で活性度は施術前 0.9 施術後 2.9、安定度は施術前 3.7 施術後 7.7、快適度は施術前 4.6 施術後 11、覚醒度は施術前-3 施術後-5であった。活性度、安定度、快適度は得点がプラスに移行し、LLLT 施術前後快適で良好な心理状態へと変化した。覚醒度がマイナスとなったことは、心理状態の沈静が起こっていることを表している。この変化には全ての項目で有意差があった ($P<0.01$)

【考察】

活性度、安定度、快適度、覚醒度の全項目で施術前後の数値が有意に変化した。従って、施術後は施術前より心理的なコンディションが快適な状態に調節された。この結果より、LLLT の前後でのリラクゼーション効果があったと考える。今後は今回の知見を蓄積し、LLLT のリラクゼーションに与える効果を更に検討していきたい。